

2026年3月17日

各 位

会 社 名 ソ レ イ ジ ア ・ フ ァ ー マ 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 荒 井 好 裕
(コード番号：4597 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 管 理 本 部 長 宮 下 敏 雄
電 話 0 3 - 5 8 4 3 - 8 0 4 6

第 99 回日本薬理学会年会における発表のお知らせ

第 99 回「日本薬理学会年会」(2026 年 3 月 16 日～18 日 東北大学川内キャンパスにて開催)において、当社販売製品ダルビアス®(一般名：ダリナパルシン)(効能・効果：再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫)に関する研究結果について、城西大学薬学部 菊地秀与准教授より一般口演として発表されましたので、お知らせいたします。

本研究では、EBV (Epstein-Barr virus) 陽性 B 細胞株に対するヒ素製剤の細胞毒性作用について検討が行われました。EBV 関連リンパ腫は難治性であることが知られており、本研究はダリナパルシンの作用機序に関する新たな知見を示すとともに、将来的な応用可能性を示唆するものです。当該研究は、城西大学薬学部 袁博教授らのグループおよび当社で実施されました。

【演題名】 EBV 陽性 B 細胞株に対するヒ素製剤の細胞毒性作用

当社開発品 SP-02 (ダルビアス®) について：

当社はダルビアスの全世界権利を有しており、日本・南米における販売権導出を通じ事業化を図っております。

当社は、大学をはじめとする研究機関との連携を深め、ダリナパルシンに関する新たな科学的知見の獲得に注力することで、ダリナパルシンの価値向上と共に医療現場への一層の貢献を目指す研究開発を推進してまいります。

注意事項：このプレスリリースに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品又は医療機器（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。